

平成15年に第1回が開催された加古川楽市も今年で20回目を迎えます。節目の今年はどうなる内容になるのでしょうか。加古川商工会議所楽市運営委員会の窪田委員長にお話を伺いました。

「商工祭」の原点に立ち返る

今年は20回目という節目の年となります。第1回目の時に僕は二十歳、(取材に同席の)鳥濱副委員長は中学生で、まさか自分が運営側に回るとは……。感慨と同時に先輩たちから受け継いできたもののスゴさを実感しています。

改めて原点である「会員事業所と地

加古川楽市、今年も盛り上げます!



右から、鳥濱誠司副委員長、窪田健二委員長、中田事務局員

加古川商工会議所青年部

楽市運営委員会

委員長 窪田 健二 さん
副委員長 鳥濱 誠司 さん

元商業者(飲食・物販ブース出店者)、来場者にふれあいの場を提供し、そこから日常の商売に繋げ、地域活性化の原動力の一助にする」と言う目的を見つめ直し、飲食などを楽しむだけのフェスティバルではなく、加古川の事業所のことをつかりとPRできるようにするにはどうしたらいいのか、『商工祭』という名にふさわしいイベントを、と何度も話し合いました。

子ども達には「働く」体験を

会員事業所紹介ブースではパネル展示などありますが、高所作業車の乗車体験や、ポニーの乗馬、また地元ケーブルテレビ局のブースでは塗り絵をし、それが後日番組内で紹介されるといった、各社の特徴を活かしたPRがされる予定です。

毎年人気の子供向け職業体験ブース『楽キッズ』では、①棟上げ体験②マッサージ体験③自動販売機補充体験④キズを直すリペア体験⑤シヨベルカー運転体験&撮影会をする予定です。全て青年部のメンバー事業所の協力で実施するもので、そこで得たお金「楽キッズマネー」は、青年部ブースのポウリング代として使うことができます。子供達には「働いた対価で得られる楽しみ」を経験してほしいと思います。

また、20周年記念としてKissFM KOBÉの公開収録が行われ、子ども対象にDJ体験もしていただく予定です。

SNS投稿で賞品ゲット!

もちろん飲食ブースも充実を図っており加古川の「食」が集結しています。売り切れ必至のコッペパンサンドや、インスタ映えで話題のアイスクリームなど、地元業者が47店出店しているの食べ歩きを楽しんで、楽市以降もお店に足を運んでほしいですね。

また昨年もしましたが、現場の写真をSNSに投稿すれば志方亭さんのお食事券が当たります。今年はフォトスポットとして巨大フォトパネルを設置しますので、是非その前で写真を撮って投稿してください。SNSの発信力は大きく、昨年は2日間で2万人もの方々にご来場いただきました。改めて数字で見ると、こんなにたくさんの方々が楽しみにしてくださっていたのかと思うと準備にも力が入ります。お越しいただいた方に来てよかったと思ってもらえるよう、そして私たち自身も運営してよかったと思える2日間にしたいですね。皆さまのご来場、お待ちしております!